

## キーボード配列

JJ1SXA/池

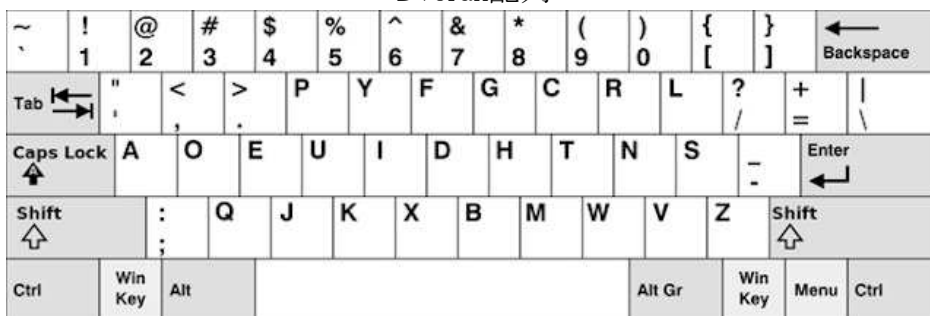
一般的に流通しているパソコンのキーボード配列は、「QWERTY(クワージー)配列」と呼ばれるタイプが主流ですが、QWERTY以外にも、「Dvorak(ドヴォラク)配列」、「QWERTZ(クウォーツ)配列」、「AZERTY(アザーティー)配列」、「Maltron配列」、「Colemak配列」等々があります。

### QWERTY配列



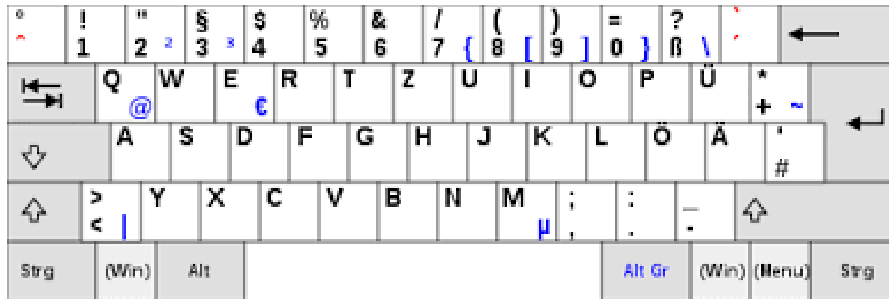
Dvorak配列は、英文入力に特化した設計、1932年にワシントン大学の教育心理学者であるオーガスト・ドヴォラクが考案したもので、特徴は、「打鍵の誤りを低減して、入力速度を向上させ、入力従事者の疲労を軽減する」ことを目的に、英文でアルファベットの出現頻度と相関性を分析し、英文入力に特化して設計された。他言語の使用は想定していない、上段と下段の使用頻度を低く、運指距離を短く設計し、母音は左手側中段、子音は母音に接続する出現頻度の降順で右手側、それぞれに配置し、右と左を交互に打鍵させて効率的で高速な入力を企図している。

### Dvorak配列



QWERTZ配列は、中央ヨーロッパと東ヨーロッパで広く使われているコンピューターやタイプライター用のキー配列で、名前は、キーボードの左上の6文字がQ, W, E, R, T, Zの並び順であることに由来している。

### QWERTZ配列



AZERTY配列は、主にフランスで使用されるキーボードのキー配列で、左上から順にAZERTYと並んでいるところから名付けられた。

### AZERTY配列



Maltron配列はもっとも先鋭的なキー配列とされています。文字キーを長方形にまとめるのではなく、テンキーを真ん中に置き、その両側に文字キーを配しています。この配列でも、利用頻度に基づいてキーが配置されているので、それほど手を動かす必要はありません。

### Maltron配列

